



この地域を 未来につなぐチカラに

千

字 万 感

株式会社三菱UFJ銀行
取締役副頭取執行役員 高原 一郎

今回、千字万感への寄稿のお話をいただき、改めて自分が生活するこの地域中部について考える機会を持つことができました。

皆さんは中部と聞いて、どのようなイメージをお持ちでしょうか。

この地域は、名古屋を中心とした日本の三大都市圏に挙げられ、自動車や航空機産業に代表されるような製造業の集積地であるほか、日本の中心に位置し、陸海空の交通の要所でもあります。

一方、広大な平野や山林、木曾三川を中心とした清流や、河口付近に発達した干潟を有し多くの生き物を育む海など、豊かな自然に恵まれており、農業や林業、漁業などの第一次産業も非常に盛んな地域です。

私はこの地域に生まれ、学生時代を過ごし、社会人になってからも非常に長い歳月を過ごしており、この地域に対する愛着を強く持っています。またここには、心が温かくこの地域を大切にしている方、この地域の将来について深く考えている方が非常に多くいらっしゃると感じており、それこそ当地域の最大の魅力ではないかと思えます。

現在、異常気象などの環境問題や自然破壊、国家間の紛争など、社会課題が山積しています。社会課題への取り組みは、ともすると企業活動とは相いれない側面があるかも知れません。ですが、そこを念頭に置いて取り組むことが、私に課せられた一個人としての使命のひとつだと思います。この魅力的な地域を次世代につなぐために出来ることは色々あるのではないかと考えながら日々過ごしています。

私の好きな言葉に「先義後利」という言葉があります。義を先にして利を後回しにするとの意味ですが、我々世代が今のこの時代に成さねばならない義を尽くすことで、時代を超えて我々の子供や孫などの次世代に利をもたらすといった考えにも通じるところがあると思えます。

休日に趣味のウォーキングをしてリフレッシュする時など、ふと、学生の頃にバックパッカーとして諸外国から日本、中部を客観的に振り返った時のことを思い出します。日常から離れたところからこの地を見ると、とても魅力的に感じました。当たり前の幸せは、なかなか普段過ごしている時には感じにくいものです。今ある当たり前の幸せを、将来世代が当たり前に感じられる世の中へとつないでいきたい。同じ想いを持った皆様と一緒に、当地域の発展に貢献していければと思っております。